

そよかせ

通信



2022年1月 No. 11

発行責任者
北本市議会議員 **金森すみ子**

連絡先 金森すみ子とあゆむ会

北本市東間 8-230-172

電話・Fax 048-542-8794

令和3年も新型コロナウイルスの影響で、どなたもご苦労された年となりました。秋には多少動きがとれるようになり、私も約2年ぶりに秋田の義母に会うことができました。お互いの安否確認ができてホッとしたものの、今度はオミクロン株が忍び寄ってきています。市は、3回目のワクチン接種の準備を着々と進めていますので、もうしばらく、どうか油断せず、気を付けてお過ごしください。

皆様にとって、心健やかな一年となりますよう お祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願いたします。



令和3年第4回北本市議会定例会(11/30~12/21)が開催されました。

市長からの提出議案は、条例改正6件、補正予算9件、公の施設の指定管理者の指定3件、など23件でした。また、議員からの提出議案は1件、委員会からの提出議案1件、市民からの請願1件がありました。

9月の定例会から持ち越しになっていた「令和2年度の決算」は、11/30に採決が行われ、賛成多数で認定されました。(内容については、「そよかせNo.10」で報告させていただいています。)

北本市障害児学童保育室の指定管理者に

『**特定非営利活動法人 すきっぶ**』を継続して指定 (令和4年4月~3年間)

3期目の継続指定となります。保護者からの評価は満足度が92%で、「子どもたちに寄り添ってくれてありがたい。」「継続指定となって良かった。」との声も上がっています。資金面では、令和3年度の報酬改定の影響で、「すきっぶ」の収入となる給付金(利用料)が減額となり、財源不足が懸念されています。市はこの件について、不足見込み額の一部は、市から「すきっぶ」へ支給する“指定管理料”を増額して対応していく、とのこと。指定管理者が安定した経営を持続できるよう、注視していきます。



市内の公園(総合公園をはじめとする95ヶ所)の指定管理者に

『**(株)矢口造園**』を継続して指定 (令和4年4月~5年間)

公園を快適かつ安全に利用することができるように、樹木・芝などの植物の管理、遊具・運動施設・管理事務所などの施設管理を行います。また、公園施設の利用受付や、対象の公園施設でのイベント・講習会などの企画運営にも携わります。

公民館・市立集会所などの施設(*)の指定管理者に、

『一般社団法人北本市コミュニティ協議会』を継続して指定(令和4年4月～3年間)

3期目の継続指定となります。北本市コミュニティ協議会は、初回の公民館等の指定管理を受託するに当たり、法人格を平成26年に取得し、社会的信用性及び公益性の向上を図っています。2期にわたり大きな問題の無い運営も認められました。地区公民館等の管理運営に関する事業、コミュニティ意識の普及啓発を図る事業等を行います。

〔(*)…他に、学習センター・勤労福祉センター・保健センター・コミュニティセンター・母子健康センター等〕

令和3年度一般会計補正予算 総額 239億 6,900 万円に

≪ 歳出の主なもの ≫

▶ 子育て世帯へ臨時特別給付金を支給 9億5,400万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、子育て世帯の生活を支援するための支給です。対象は①～③のいずれかに該当する場合。(対象の子ども1人につき現金10万円)

- ①児童手当を受給されている方 → 12月末に児童手当口座へ支給済みです。
- ②高校生の年齢の子ども(～平成18年4月1日生まれ)の保護者で所得が①と同等未満の方
- ③令和4年3月31日までに生まれた児童の養育者で所得が①と同等未満の方

※ ②のみ該当の方、公務員世帯の方は、申請が必要です。

→ 1月上旬に案内通知が発送されます。市ホームページ等でご確認下さい。

▶ 職員の公用での移動に電動自転車を利用します 558万円(国からのコロナ交付金)

電動自転車31台の購入利用で、脱炭素社会を促進し、3密の回避で新型コロナウイルス感染予防にも努めます。価格は、1台当たり18万円(バッテリー2個付き)。小・中学校に各1台、庁舎利用に20台、10年の利用を見込んでいます。先々公用車5台を廃車し、経費の削減をしていきます。

▶ 稲作経営次期作支援事業 353万円

コロナによる外食産業の自粛で米の需要は減少し、令和3年産の米価は下落しました。その影響を受けた農家に対して、次期の水稻作付に対する種苗費用相当額を補助し、来期への農業経営の維持・安定を図ります。(10アール当たり3,500円)

▶ 休日夜間の小児救急対応が可能になります 31万5千円(令和3年3月までの運営費)

小児の初期救急医療(*1)・二次救急医療(*2)については、休日夜間の対応ができず、関係市町と医師会でも懸念事項でした。この度、令和4年1月9日以降の日曜日について、上尾中央総合病院と北里大学メディカルセンターへ、県立小児医療センターから小児科医を派遣できることになり、日曜夜間治療の拡大が実現します。

〔(*1)…帰宅可能な軽症患者への医療、(*2)…24時間体制・専門医・手術・入院が可能な医療〕

議員提案 一般廃棄物処理施設調査委託事業費700万円の執行を求める決議

令和2年12月議会で「新ごみ処理施設の整備に当たり慎重かつ丁寧な対応を求める決議」が全会一致で可決されました。これを受けて市は、「一般廃棄物処理施設調



査委託事業費700万円」を令和3年度予算に計上しましたが、未だに執行されていません。議会は、市に対し、速やかに予算を執行し、財政負担や環境負荷について調査を実施するよう求めました。

本定例会では、市民から、新ごみ処理施設整備の安全性・健全性・脱炭素化について大変心配する、という内容の請願も出されています。「そよかぜNo.10」でも書きましたが、本市には、市民に最適な条件を考え、市の主体性を持って施設整備に臨んで欲しいです。



～ お知らせ ～

▶ 移動スーパーの市内巡回が始まりました（令和3年12月13日～）

主に高齢の方への日常の買い物を支援しようと、スーパーマーケットの「カスミ深井店」の移動販売が始まりました。市内35ヶ所を、週に1～2回のペースで運行します。移動販売では、弁当・野菜・魚・肉・牛乳などの生鮮食品やパン、日用雑貨などが購入できます。巡回のコースは「広報きたもと1月号」で確認できますので、どうぞご利用ください。

私の住まいの近辺でも、親しんで来たドラッグストアが幹線道路沿いへ移転し、買い物に不便を感じられている方が多いようです。市には、今後も高齢者が日常の買い物に困らない体制づくりを、地域店舗と連携して進めてもらいたいと思います。



▶ 北本市電子図書館のサービスが開始しました（令和3年11月～）

インターネットに繋がるパソコン、タブレット端末、スマートフォンがあれば、図書館に出向くことなく、電子図書を無料で借りることができます。取り扱いは、8,000冊ほど。24時間いつでもどこからでも借りられて、コロナ禍でも安心して読書を楽しめるとのことです。音声読み上げ付きの本も有り、高齢の方や障がいのある方も“聞く読書”を楽しめます。市立図書館の利用券をお持ちであれば、電子図書館ホームページから借りる手続きができます。

一年程前に、電子図書の件を市に尋ねましたが、当時の回答は、電子図書は高価なもので導入は難しいとのことでした。ですが、その後、令和3年4月より「こども図書館」と「市立図書館」が同一の指定管理者となり、小・中学校でのタブレット端末などを用いた「ICT教育」が加速し、大きく状況が変わり驚いています。従来の本の魅力も大切にしながら、電子図書の利便性を楽しみたいです。



『さわやかサロン』のクリスマス会に参加しました（12/20 東間8丁目集会所）

一人暮らしの高齢の方を対象にしている「さわやかサロン」ですが、新型コロナウイルスの関係もあり、約2年ぶりに参加させていただきました。当日は30名程の方の参加で、会話も弾み和気あいあいとした会となりました。岡田顧問のお話や皆さんでの歌、世話役の方の進行で輪投げなどのゲームを楽しみ、応援の声掛けに歓声を上げたりと、盛り上がりました。お開きの時間には、始動したばかりの「移動スーパー」が集会所脇に到着して、買い物の機会も有り、参加された方には充実した日となったのではないのでしょうか。皆さんの元気な姿を拝見できて、私の心も温まりました。



金森すみ子の一般質問



【 障害児(者)生活サポート事業の補助金交付の認定について 】

問 この事業は、障害児(者)の生活支援及びその家族の負担軽減を図るものですが、その認定において、近隣市と差があるとの声を聞きます。要因について伺います。

答 県の示す制度の趣旨から大きく逸れない運用の範囲の中で、個々のケースの状況により判断をする必要もあり、市町村間において運用の差異が生じている場合があるものと認識しています。今後とも、制度の運用に当たりましては、適切に対応するよう努めていきます。

要望 障がいの分野は、介護の分野以上に多種多様とのことですので、補助金交付の認定は易しいものではないと思います。また、県からの補助金額も人口によって異なることで、単純に近隣市町と比べることはできません。ですが、この事業に限らず、できるだけ近隣市町との運用の差が出ないように努めていただきたい、と要望しました。

【 騎西特別支援学校と連携した教育について 】

問 大阪市立大学院のアンケートでは、日本では諸外国と比べて、障がい者と関わった事が無い人が5割と高く、障がい者施設の建設に賛成する人が3割と低い、状況です。障がい者への危険視や不安を持っている人が多いとされています。令和4年4月の騎西特別支援学校北本分校の開校は、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ「インクルーシブ教育」の推進に良い機会になると考えます。騎西特別支援学校と連携した学びの取り組みについてお尋ねします。

答 騎西特別支援学校には、小・中学校に在籍する障害のある児童生徒への適切な教育を支援していくセンター的機能があり、特別支援学級担当者への研修や支援、特別な教育的ニーズを必要としている児童生徒の相談、などの取り組みを進めているところです。北本分校の開校で、従来の小・中・高交流事業に、新たな取組内容が加わることも期待できると考えますので、連携を深め様々な取り組みを充実できるよう研究していきます。

感想



今回の質問のやり取りで、子どもたちは多様性に柔軟に対応できるようになってきていると感じました。どちらかという私たちが大人が、インクルーシブの理念を学ぶ必要があるのではと思いました。

【 会計年度任用職員(非常勤職員)について 】

問 ①会計年度任用職員は、全職員の4割を占めており、市の行政運営には欠かせず、市民サービスの評価にも影響する存在です。人材育成はしていますか。②コロナの影響などで、収入が大きく減少した市民を、市で雇用して生活支援をする取り組みについては、どのように考えていますか。

答 ①職員と同様に、窓口において市民対応などを行っていますので、今後は、職員と同様に必要な知識や心構えの習得など、研修機会をつくるよう努めていきたいと考えます。②収入が大きく減少された方のみを限定した募集は行っていませんが、会計年度任用職員の募集は随時行っていますので、申請していただければと思います。